スピンバイク SB702

取扱説明書

改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承ください。

スピンバイクをご使用になる前に必ずこの組扱説明書を全て読んでください。

目次

重要な安全上の注意事項.....3
安全に使用するためのガイドライン.....4
組立部品チェックリスト.....5
組立方法.....6
適切にご利用いただくためのバイクの調整.....11
デュアル･ファンクション･ペダル.....13
基本操作.....14
パーツリスト.....15
分解図.....19
サイクルモニタコントロールパネル仕様.....20
安全に関する注意事項.....21
取付方法.....22
コントロールパネル表示.....24
コントロールパネル操作方法.....25
トラブルシューティング.....30
メンテナンスガイドライン.....31
保証書.....32

SB702_ver.A

安全のための重要事項

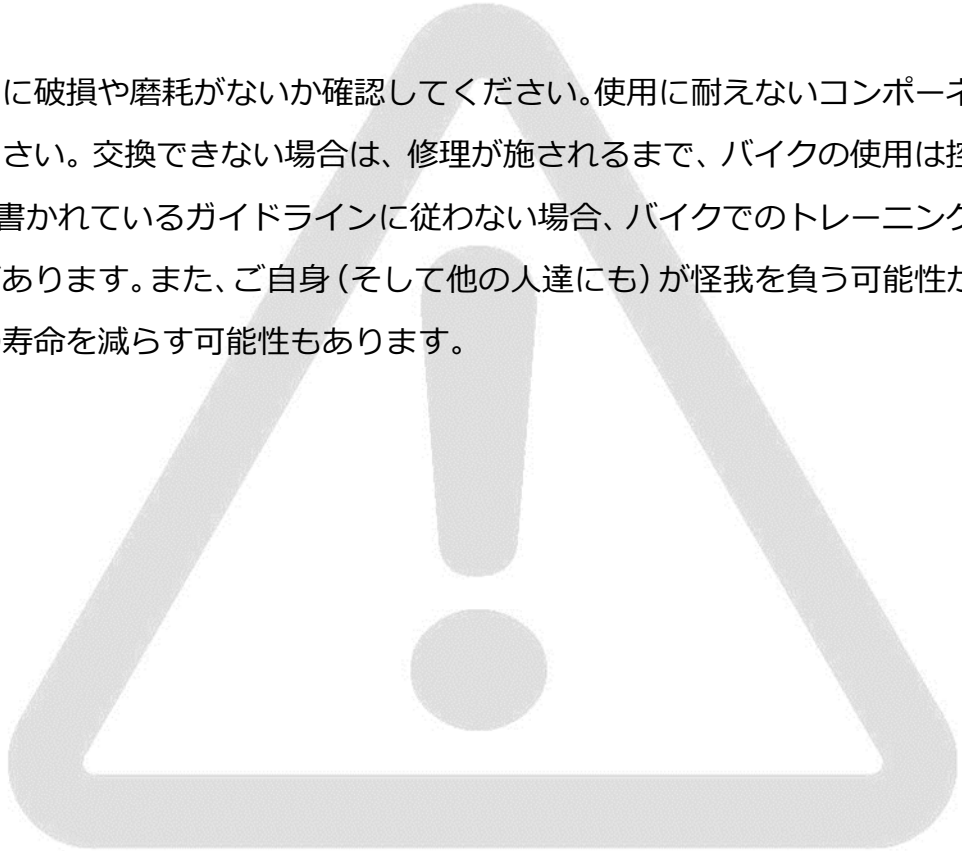
警告！

この運動器具を使用する前に、すべての記載事項をお読みください

1. このマニュアルに記載されている使用目的以外にこの装置を使用しないでください。このスピンバイクの使用に慣れるまで十分に遅いスピードで使用してください。十分に慣れるまで高速なスピードでこのスピンバイクに乗ることは絶対に避けてください。
2. このバイクはフリーホイールシステムを装備していません。フライホイールが回転している間は、ペダルも回わります。膝の負傷の危険性がありますので、ペダルに逆回転方向の圧力をかけて止めようとしないでください。また、危険ですので、ペダルが回転している間はペダルから足をはずさないでください。必ずブレーキノブを使用してフライホールの回転を止めてください。
3. フライホイールが完全に止まるまで、バイクから降りないでください。フライホイールを止めるにはブレーキノブを押し下げることで停止できます。
4. 心臓病（狭心症、心筋硬塞など)、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく、慢性気管支炎、肺気腫など)、変形性関節症、リュウマチ、痛風、妊娠中の方、その他病気や障害のある方はエクササイズを始める前に、必ず専門医師にご相談ください。日頃運動していない方が急に強い運動をすることは危険な場合がありますので、徐々に運動強度を上げるようにしてください。トレーニング中に気分が悪くなったり、身体に異常を感じた時は、直ちに運動をおやめください。
5. 怪我をするおそれがありますので、手でペダルクランクを回さないでください。駆動部分が動いている間は、駆動部分に手を触れないでください。
6. 家庭でのご使用の場合は、未使用時のバイクにお子様を近づけないでください。また、バイク使用時には、お子様、ペットが本体に近づかないようにしてください。
7. ハンドルバーに沈み込む動きをしないでください。
8. バイクは安定した、水平な床で使用してください。

9. 適切なシート位置、ハンドル位置、ペダルのトーストラップの使用を含めてバイクの安全使用上の注意に従ってください。ハンドルポストとシートポストの高さを最高位置を越えて使用しないでください。
10. 安全のためにバイクの左右に最低３０cm、後方に最低６０ｃｍのスペースを空けてください。定期的にバイクを損傷や磨耗が無いか点検してください。使用できないパーツは直ぐに交換するか、交換するまでバイクの使用を控えてください。すべての安全と使用ガイドラインに従わない場合は、バイクの有効性を損なったり、自身（または他の方）が怪我をする可能性があり、バイクの寿命を縮める可能性があります。

定期的にバイクに破損や磨耗がないか確認してください。使用に耐えないコンポーネントは直ちに交換してください。交換できない場合は、修理が施されるまで、バイクの使用は控えてください。この冊子に書かれているガイドラインに従わない場合、バイクでのトレーニングの有効性を損なう可能性があります。また、ご自身（そして他の人達にも）が怪我を負う可能性があります。さらにバイクの寿命を減らす可能性もあります。



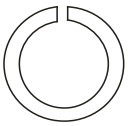
安全に使用するためのガイドライン

警告！

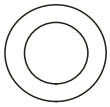
このエクササイズ機器の所有者として、すべての使用者が同じガイドラインに従った使用をするように徹底する必要があります。すべての使用者がこのマニュアルを利用できるようにしてください。

1. 医師から適切な健康診断結果を受け取り、健康状態に適したエクササイズプログラムを構築するために、専門家のアドバイスを必ずを受けてください。
2. 初めて使用する場合は、ゆっくり始め、最低でも５分間そのペースを維持してください。その後、筋肉が温まってきたら徐々にペダルの速度を上げてください。
3. あなたのエクササイズプログラムのペースと持続時間は、常にあなたのコンディションと感じ方で決めてください。決して周りや外部からのプレッシャーで自分の限界を超えることが無い様に注意してください。
4. 初めてこの機器を使用する場合、体重が肥満と思われる場合や健康や体調管理に心配がある個人は特に慎重に使用を始めてください。今まで特に健康に問題が無かった場合でも、エクササイズを実際よりも軽度に感じてしまい、結果として重篤な健康の問題を引き起こしたり、怪我や傷害を負う可能性があります。
5. 適切な設置と定期的なメンテナンスは、安全性を確保するために必要です。機器のメンテナンスは、所有者に全責任があります。

組立部品リスト



#49. 5/16"×1.5T
スプリングワッシャー（４個）

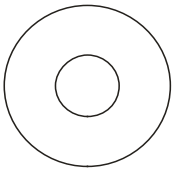


#48. 5/16"×16mm×1T
平ワッシャー（４個）

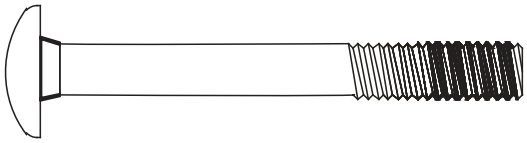
#82. 3/8"
キャップナット（４個）

#88. 5/16″×16mm
六角穴付ボルト（４個）

#91. M5×10mm
プラスネジ（２個）



#83. 3/8"×23×1.5T
湾曲ワッシャー（４個）



#81. 3/8″×89mm
根角ボルト（４個）

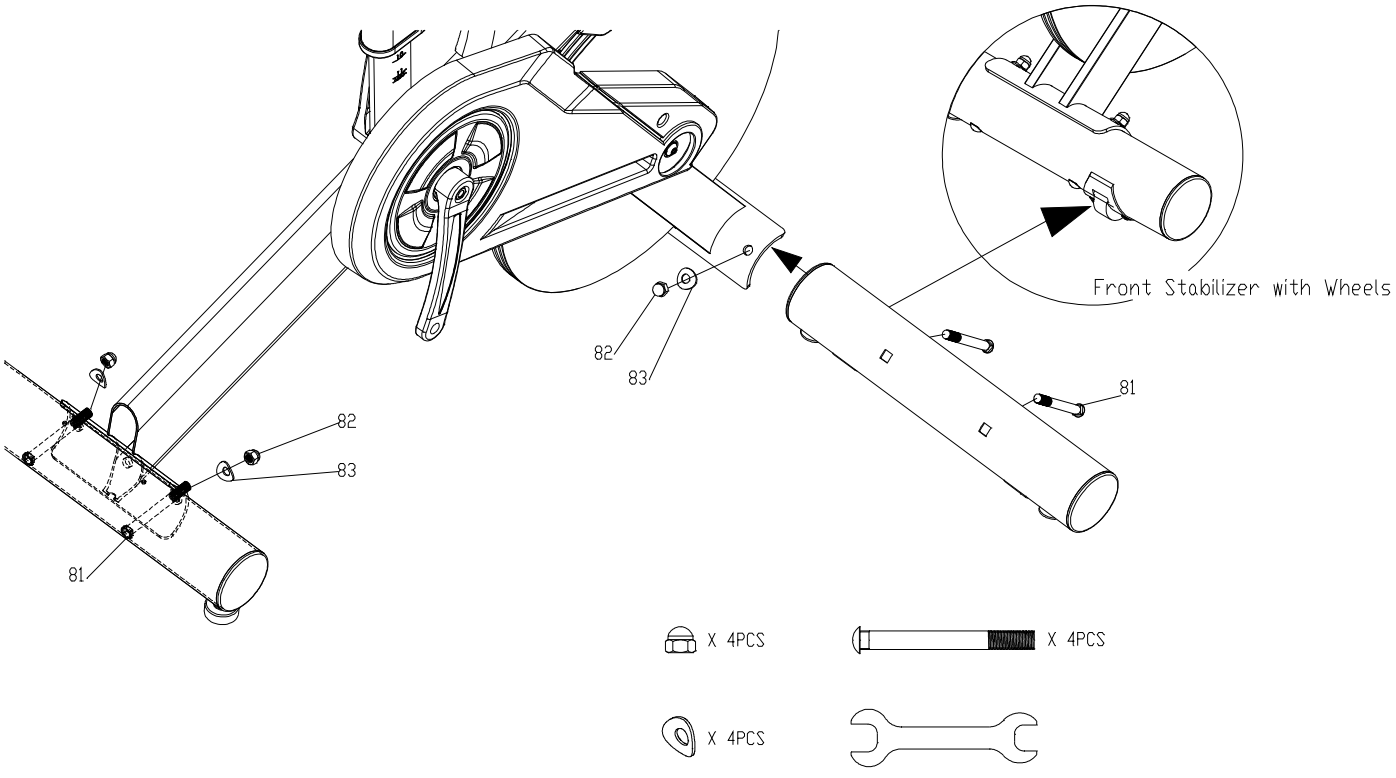
#85. 14mm･15mmレンチ（１個）

#86. M5コンビネーション
M5六角レンチ＋プラスドライバー（１個）

ステップ 1

スタビライザーの取付

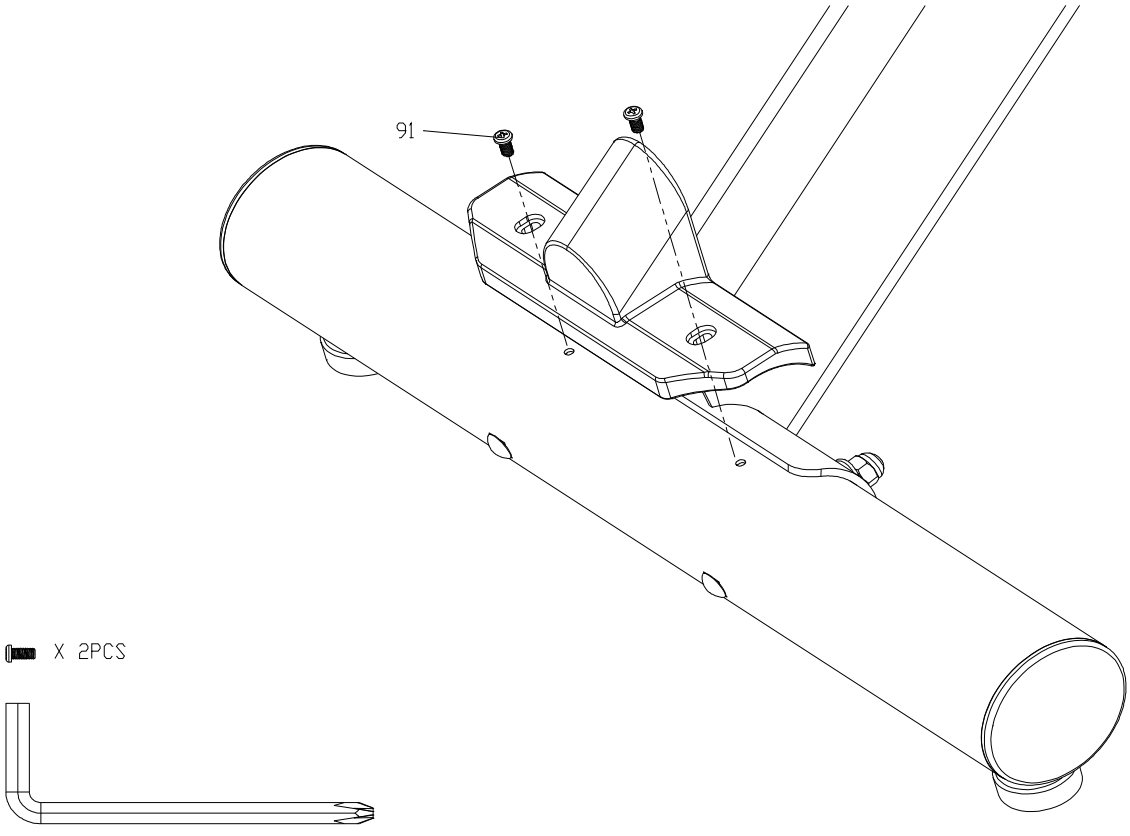
前後のスタビライザーを４本の3/8″根角ボルト（81）と４個の湾曲ワッシャー（83）と４個の3/8″キャップナット（82）で取付けます。前のスタビライザーはキャスター付で後ろのスタビライザーは高さ調整ねじがついていますので、間違えないように確認してください。キャスター付のスタビライザーは前側に装着するように注意してください。



ステップ２

背面カバーの取付

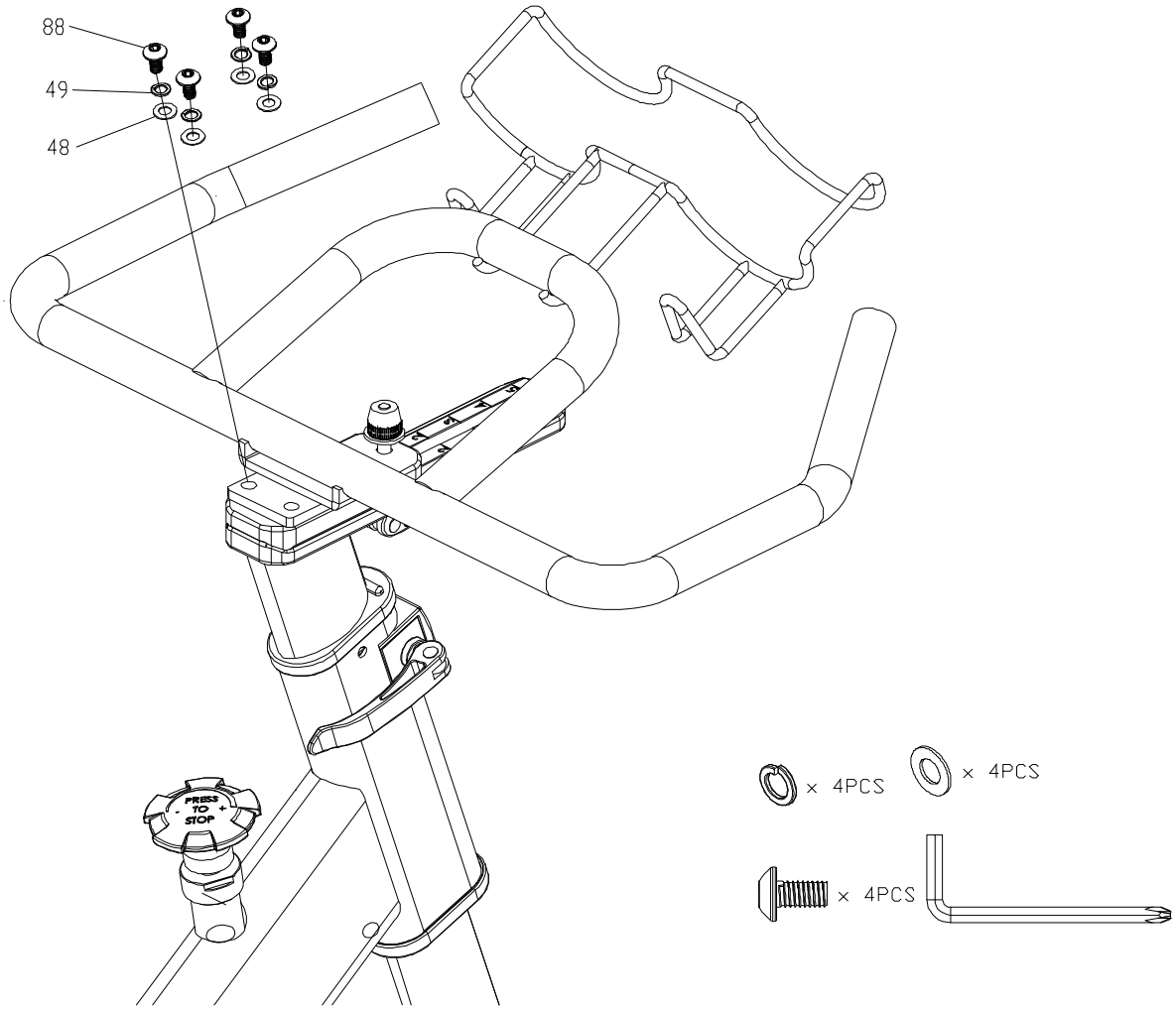
リアスタビライザーのカバーを２個のM5×10mmのネジ（91）で取付けます。



ステップ 3

ハンドルバーとドリンクホルダーの取付

ハンドルバーを４個の 5/16”×15mm のボルト（88）、４個の 5/16”のスプリングワッシャー（49）と 5/16”の平ワッシャー（48）で取り付けます。ボルトはしっかり締めてください。

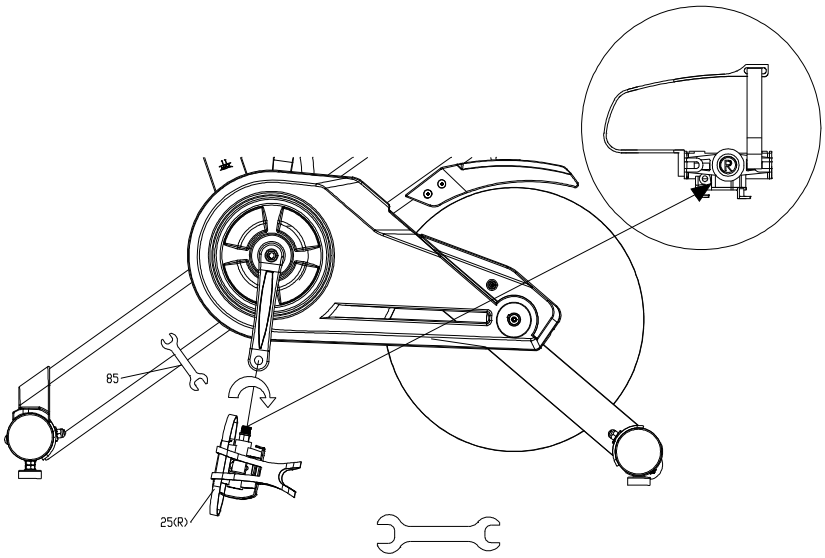


ステップ 4

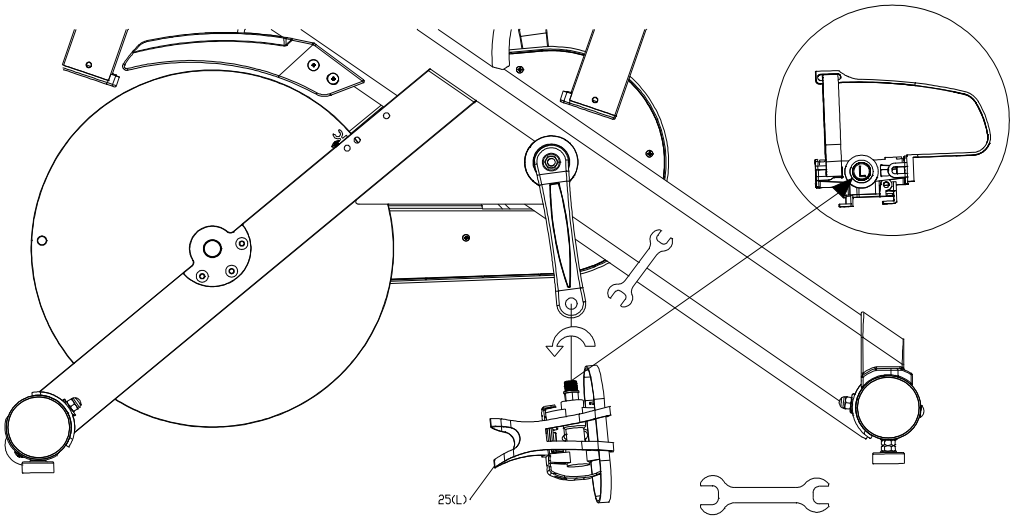
ペダルの取付

クランクアームに左ペダル（25L）と右ペダル（25R）を取り付けます。左ペダルは逆ネジボルトを使用していますので、締めるには反時計回り方向に締める必要がありますので注意してください。ペダルはボルトのエンドにR（右）またはL（左）の刻印がありますので判別できます。

右ペダル



左ペダル



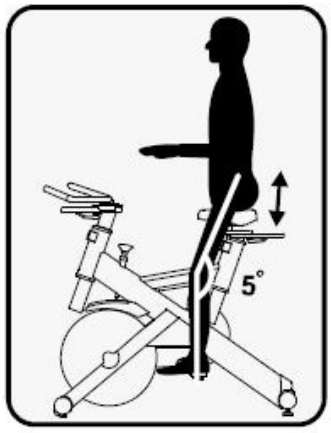
適切にご利用いただくためのバイクの調整

時間をかけて自分の身体にバイクがフィットするように調整することが非常に重要です。よくフィットしているバイクはあなたのトレーニングをより快適なものにし、安全性を高めます。調整がうまくいっていないバイクでエクササイズを続けることは、あなたのトレーニングを不快なものにし、怪我等のリスクを増加させる結果となります。

シート位置の調整：

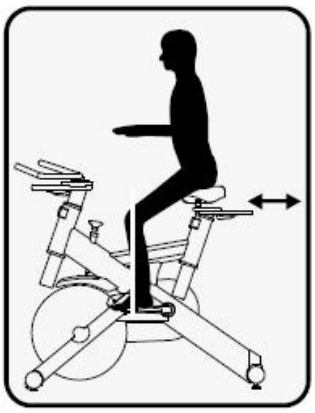
シート高調整

1. バイクの横に立ち、シートがお尻の高さ程度になるまで調整してください。
2. 左右のペダルが垂直位置になるまでクランクを回してください。(ペダルが12時と6時の位置になるように)
3. 床側のペダルのトーホルダーにつま先を置くまで入れた状態でシートにまたがってください。ペダルの中央に拇指球（親指の付け根の部分）が位置していることを確認してください。その時、足はひざの部分が5度程度曲がる状態であるか確認してください。



4. あなたの足がまっすぐに伸びきっているか、ペダルに届かない状態の場合はシートの下げて低くする必要があります。また逆に、ひざが5度以上曲がっている場合はシートを上げて高くする必要があります。
5. バイクから降りて、サドルのクイックリリースレバーを緩めて、サドルの高さを上下に調節してシートの位置を調整します。
6. サドルが正しい位置にある場合はシートポストを固定するクイックリリースレバーを締めます。
7. 今後のために、サドルの高さをマーキングしておくとよいかもしれません。

シート前後位置調整



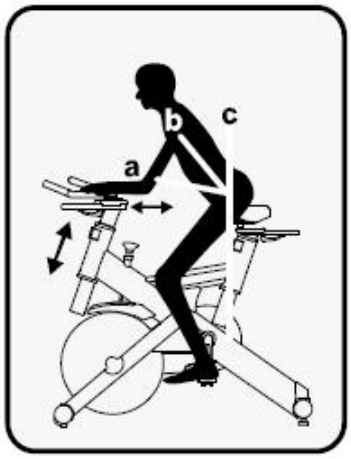
1. ペダルクランクを水平位置（ペダルを9時と3時の位置）にして、シートにまたがる。ロードバイクのトレーニング用には後ろ足の脛の上の飛び出ている部分がペダル軸の真上に来る位置に調整します。
2. バイクから降りて、シートの下のバイクのマウントを解除します。座席の下にクイックリリースを緩め、前後にシートをスライドさせて望みの位置で締めて固定します。

ハンドルバー調整：

ハンドル高さ調整

1. ハンドルバーの高さは、使用するユーザーの好みの高さに調整してください。目安として、ハンドルバーの高さはシートと同じ高さ基準とするとよいでしょう。シートの高さより高く設定すると上体が起きた姿勢になり、低いと前傾姿勢になります。
2. ハンドルバーを上下に調整するには、ハンドルバーのポストにあるクイックリリースレバーを緩めてハンドルを上下に動かし、望みの高さに調整してください。調整がすみましたら、クイックリリースレバーを締めて固定してください。最終的なポジションをマーキングしておくと便利です。

ハンドルバーの前後位置の調節

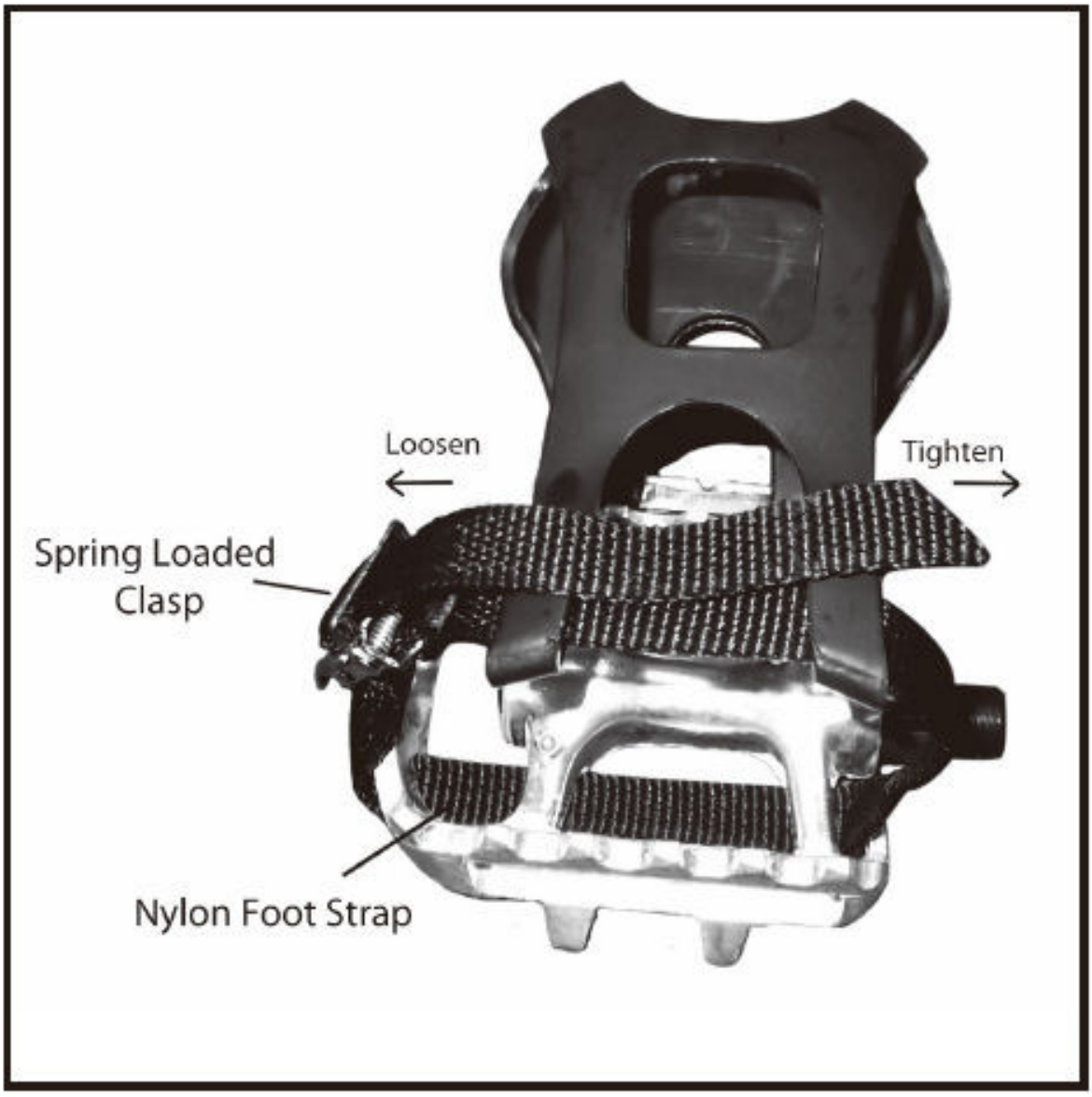


1. ハンドルバーの前後位置の調整にはハンドルバー下のクイックリリースを緩めてハンドルバーを前後にスライドさせて調整します。ハンドルバーの前後位置の適切位置は、使用者が力を入れずにハンドルバーをつかんだ時に、ひじが軽く曲がる位置です。
2. ハンドルバーの位置が決まったらクイックリリースを締めて固定します。

デュアル･ファンクション･ペダル

ペダルストラップの調整

ペダルのトーホルダーにつま先を入れます。ストラップがきつ過ぎたり、つま先が入らない場合には、片手でストッパーを開き、もう片手でストラップを引っ張り緩めます。逆に、トーホルダーが緩すぎる場合はストラップを逆にひっぱり締めて調整します。



基本操作

適切なライディングポジションを設定した後は、実際にバイクに乗ってそのライディングポジションが本当に適切な設定であるか時間をとって確認してください。まず、ゆっくりしたペースで、つま先、膝は真正面を向いていることを確認してください。ハンドルバーを軽く握り、肩や上半身に力を入れずにトレーニングが続けられる位置かを確信できるまでは、低抵抗でゆったりしたペースでおこなってください。

⚠ 警告！⚠

トレーニング中に、胸の痛み、筋肉の異常な痛み、痙攣の発生、眩暈、動悸、息切などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。ワークアウトの中止後にも、前述の症状が改善しない場合や、解消しない場合は大至急医師に掛ってください。

1. ペダル抵抗は負荷調整ノブで調節します。抵抗は負荷調整ノブを回すことでいつでも変更できます。抵抗を増やすには時計回りに、抵抗を減らすには反時計回りに回します。
2. ブレーキは、負荷調整ノブを押す事でかけられます。
3. バイクから降りる前に、ブレーキを使うか負荷を増やしてフライホイールを止めてください。

パーツリスト

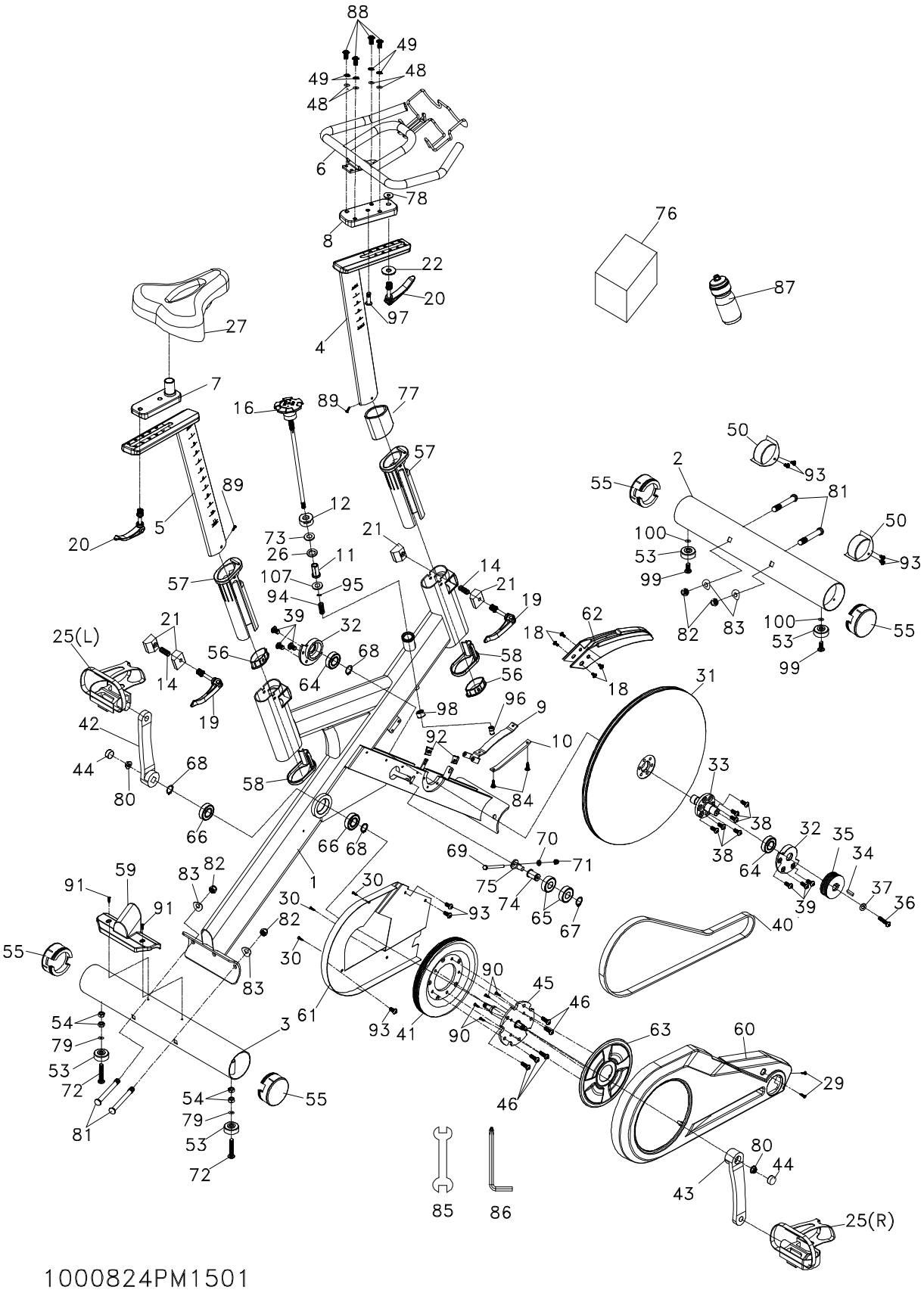
番号	パーツ名	個数
1	メインフレーム	1
2	スタビライザー前	1
3	スタビライザー後	1
4	ハンドルバー・ポスト	1
5	シート・ポスト	1
6	ハンドルバー	1
7	スライディングシートマウント	1
8	スライディングハンドルバーマウント	1
9	ブレーキパッド・ブラケット	1
10	ブレーキパッド―ウールフェルト	1
11	ブッシュ	1
12	ナット	1
14	スプリング	2
16	ブレーキ負荷ノブ	1
18	M6×15mm　プラスネジ	4
19	8×40mm　クイックリリースレバー	2
20	8×25mm　クイックリリースレバー	2
21	アルミニウムロッキングＶブロック	4
22	5/6”×35×3.0T　平ワッシャー	1
25	ペダルセット　（25L、25R）	1
26	回転防止ワッシャー	1
27	シート	1
29	5×16mm　タッピンねじ	2
30	3.5×12mm　タッピンねじ	3
31	フライホイール	1
32	ベアリングハウジング	2
33	フライホール軸	1

番号	パーツ名	個数
34	半月キー	1
35	フライホイールプーリー	1
36	5/16″×19mm 六角穴付ボルト	1
37	5/16″×20×3.0T　平ワッシャー	1
38	5/16″×19mm 六角穴付ボルト	6
39	M6×10L　プラスネジ	6
40	ベルト	1
41	ドライブプーリー	1
42	クランクアーム L（左）	1
43	クランクアーム R（右）	1
44	クランクアームキャップ	2
45	クランク軸	1
46	5/16″×13mm 六角穴付ボルト	5
48	5/16″×16×1T　平ワッシャー	4
49	5/16″×1.5T　スプリングワッシャー	4
50	キャスター	2
53	ゴム足	4
54	3/8″　ナット	4
55	スタビライザーエンドキャップ	4
56	エンドキャップ　アイチューブ	2
57	プラスチックサイドインサート　アイチューブ	2
58	ボトムエンドキャップ　アイチューブ	2
59	後スタビライザーカバー	1
60	チェーンカバー　（外側）	1
61	チェーンカバー　（内側）	1
62	フライホイールフェンダー	1
63	プーリーカバー	1
64	6004　ベアリング（NSK）	2

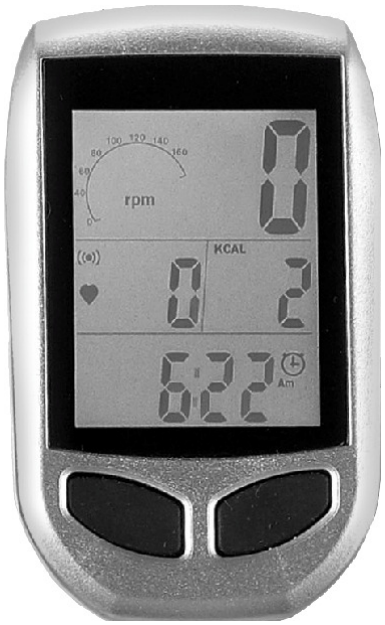
番号	パーツ名	個数
65	6203　ベアリング	2
66	6004　ベアリング（TMT）	2
67	Φ17　C リング	1
68	Φ20　C リング	3
69	1/4″×76mm 六角ヘッドボルト	1
70	1/4″　六角ヘッドボルト	1
71	1/4″×5.5T　ナイロックナット	1
72	3/8″×51mm　皿六角穴付ボルト	2
73	25.5×Φ16　星型ワッシャー	1
74	アイドラー軸	1
75	アイドラー調整根角ボルト	1
76	サイクルモニターコントロールパネル	1
77	フォームストップ　ハンドルバーアイチューブ	1
78	Φ5/16″×23×2.0T　平ワッシャー	1
79	3/8″×19×1.5T　平ワッシャー	2
80	M10×P1.25　ナット	2
81	3/8″×89mm　根角ボルト	4
82	3/8″　キャップナット	4
83	3/8″×23×1.5T　湾曲ワッシャー	4
84	M5×12mm　タッピンねじ	2
85	14mm/15mm　レンチ	1
86	M5 コンビネーション M5 六角レンチ＋プラスドライバー	1
87	ドリンクボトル（オプション）	1
88	5/16″×16mm　六角穴付ボルト	4
89	M5×10mm　六角穴付ボルト	2
90	Φ5×10mm　タッピンねじ	4
91	M5×10mm　プラスネジ	2
92	M5　スピードナットクリップ	2

番号	パーツ名	個数
93	M5×10mm　タッピンねじ	7
94	スプリング	1
95	固定ピン	1
96	安全スリーブ	1
97	5/16″×26mm　六角穴付ボルト	1
98	スリーブブッシング	1
99	3/8″×19mm　六角穴付ボルト	2
100	3/8″×21×2T　平ワッシャー	2
107	Φ8×Φ12×1.0T　平ワッシャー	1

分解図



サイクルモニターコントロールパネル



ご使用上の注意

1. サイクルモニタコントロールパネルは密封されたユニットとして設計されています。電池を交換する以外にユニットを開けるように設計されていません。ユニットが分解されている場合は保証の対象外となります。
2. サイクルモニタコントロールパネルはきれいな布を水で濡らし固く絞った上で表面を拭いてください。洗剤、溶剤、ベンジン等のご使用はお控えください。保証の対象外となります。
3. サイクルモニタコントロールパネルは簡単な防水性はありますが、耐水性はありません。過度な水の接触は保証の対象外となります。

サイクルモニタコントロールパネル仕様

ケイデンスバーグラフ：	バー当たり 0～200rpm/10rpm
回転数：	0～240 回転
速度：	0～96km / h
心拍数：	30～240 BPM
時間（カウントダウン）：	1～99 分
時間（カウントアップ）：	00:01～99:59

安全にご使用いただくための重要事項

注意！

サイクルモニタコントロールパネルシステムは、コントロールパネルユニットと、スピードセンサーの送信機で構成されています。送信機はスピンバイクのフライホイールに搭載されている磁石がセンサーを通過した回数をカウントします。スピードセンサー送信機は（スピードとケイデンス）測定値が含まれている信号を送ります。

コントロールパネルユニットとスピードセンサー送信機は、単４（AAA）型電池を使用しています。使用する前に、コントロールパネルユニット速度センサーの送信機で付属の単４（AAA）電池を取付けてください。

取付方法

コントロールパネルユニットの電池の取付け：

1. ユニットの背面から電池カバーを取り外します。
2. 電池ケースに単 4 電池 2 本を入れ、電池カバーを取付けます。
3. 電池が消耗してくると、コントロールパネルの表示に電池マークが点滅しますので、新しい電池に交換してください。

スピードセンサー送信機の電池の取付け：

1. 送信機の電池カバーをはずします。
2. 電池ケースに単 4 電池を 2 本取付け、電池カバーを取付けます。
3. 新しい電池を取付けた場合（コントロールパネルユニット、または、スピードセンサー送信機、または両方）、正しく通信できるように同期する必要があります。同期方法は下記を参照してください。

コントロールパネルと送信機の同期方法：

1. 電池を交換した場合、両ユニット間の通信を確立するために下記の方法で必ず同期させる必要があります。
2. コントロールパネルの両方のボタンを同時に押して約 3 秒後に“ID – – ”と表示させてください。
3. 次に、スピードセンサー送信機の青いボタンを 3 秒間押したままにして、放してください。コントロールパネルの表示が“ID 0”になっているのを確認してください。この操作はステップ 2 の 10 秒以内におこなわないと、失敗します。失敗した場合、コントロールパネルに“ID ER”と表示されます。その場合、再度ステップ 2 から繰り返してください。
4. もし、何回繰り返しも同期ができない場合は、両方のユニットから電池を取り出し、再度電池を挿入してやり直してください。

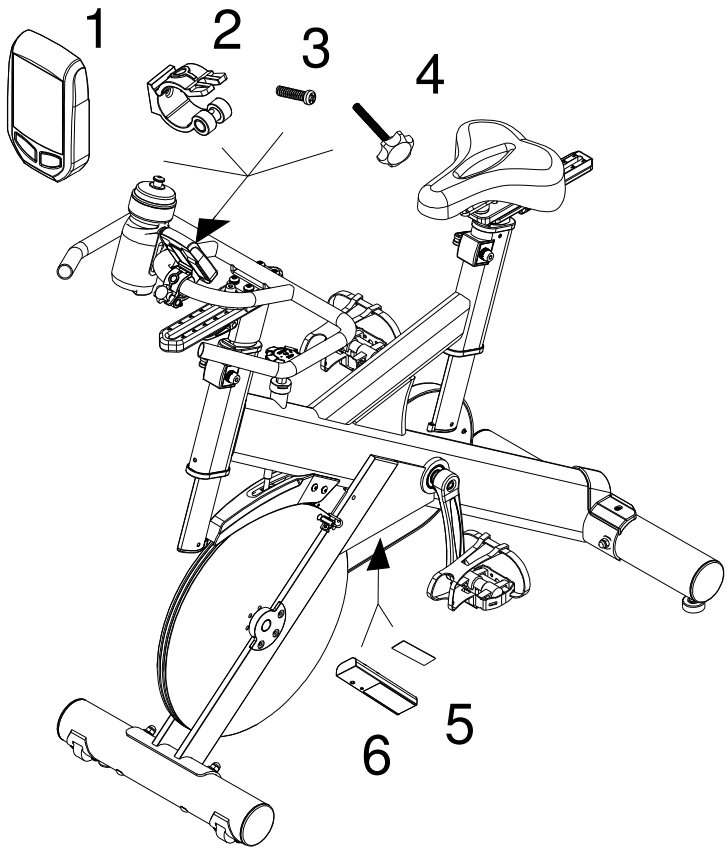
サイクルモニタコントロールパネルシステムの取付け

コントロールパネルの取付け：

1. コントロールパネルユニット（1）の裏側にクランプ（2）を取付けねじ（3）で取付けます。
2. コントロールパネル（1）をハンドルの中央部の先端に取付け、つまみねじ（4）で軽く止めます。コントロールパネルを見やすい位置に調整してつまみねじ（4）でしっかり固定します。

スピードセンサー送信機の取付け：

スピードセンサーのケーブルを送信機（6）に差込みます。送信機（6）の裏のマジックテープとスピンバイクのチェーンカバーの裏側のマジックテープをあわせて取付けてください。



1 – コントロールパネル

2 –クランプ

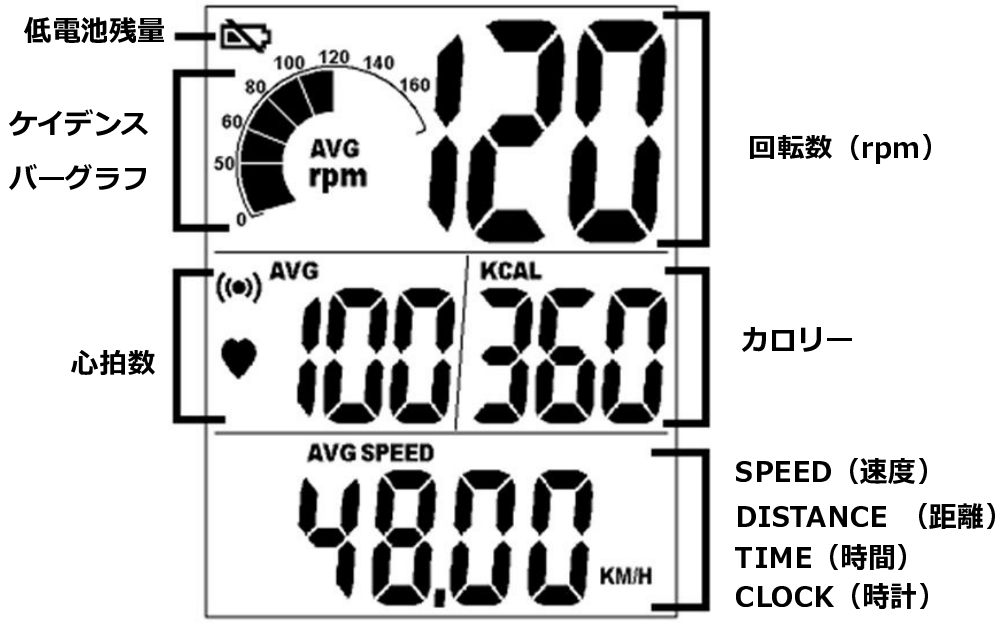
3 – 取付けねじ

4 – つまみねじ

5 – マジックテープ

6 – スピードセンサー送信機

コントロールパネル表示



TIME（時間）

TIME（時間）は分：秒（mm:ss）と表示されます。

時計と使用時間をカウントアップ（累積時間）タイマーかカウントダウンタイマーとして表示します。ペダルが止まると 3 秒後にタイマーは止まります。

RPM （回転数）/ ケイデンス

ケイデンスとは、自転車において 1 分間のクランク回転数のことをいいます。回転数は RPM で表されます。また、平均回転数はバーグラフで表され、視覚的に現在の速度を知ることができます。自転車の想定スピードは時速（km/h）で表されます。

DISTANCE（距離）

DISTANCE（距離）は仮想の移動距離を計算したものが表示されます。仮想移動距離はスピンバイクのフライホイールのサイズを元に計算されます。

KCAL（カロリー）

KCAL（カロリー）は消費カロリーを計算しています。消費カロリーは運動量の目安ですので、実際の消費カロリーではありません。

HEART RATE（心拍数）

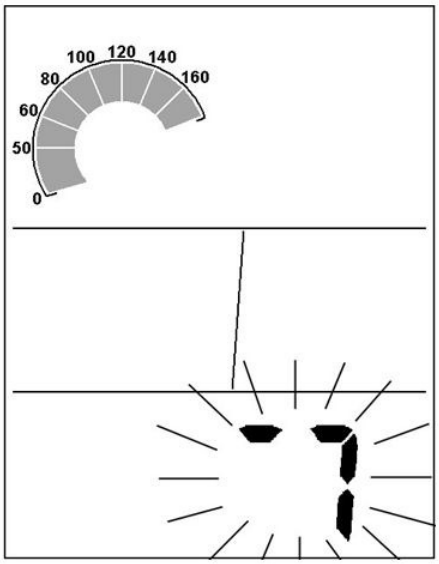
チェストベルト（別売）から送られてきた信号を元に心拍数を表示しています。

コントロールパネルの操作方法

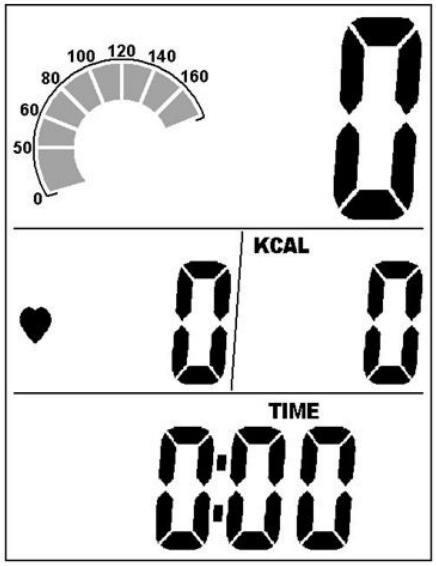
コントロールパネルの起動

コントロールパネルがスリープモードにある場合は、いずれかのボタンを押すことで起動できます。起動直後はクイックスタートモードになります

スリープモード

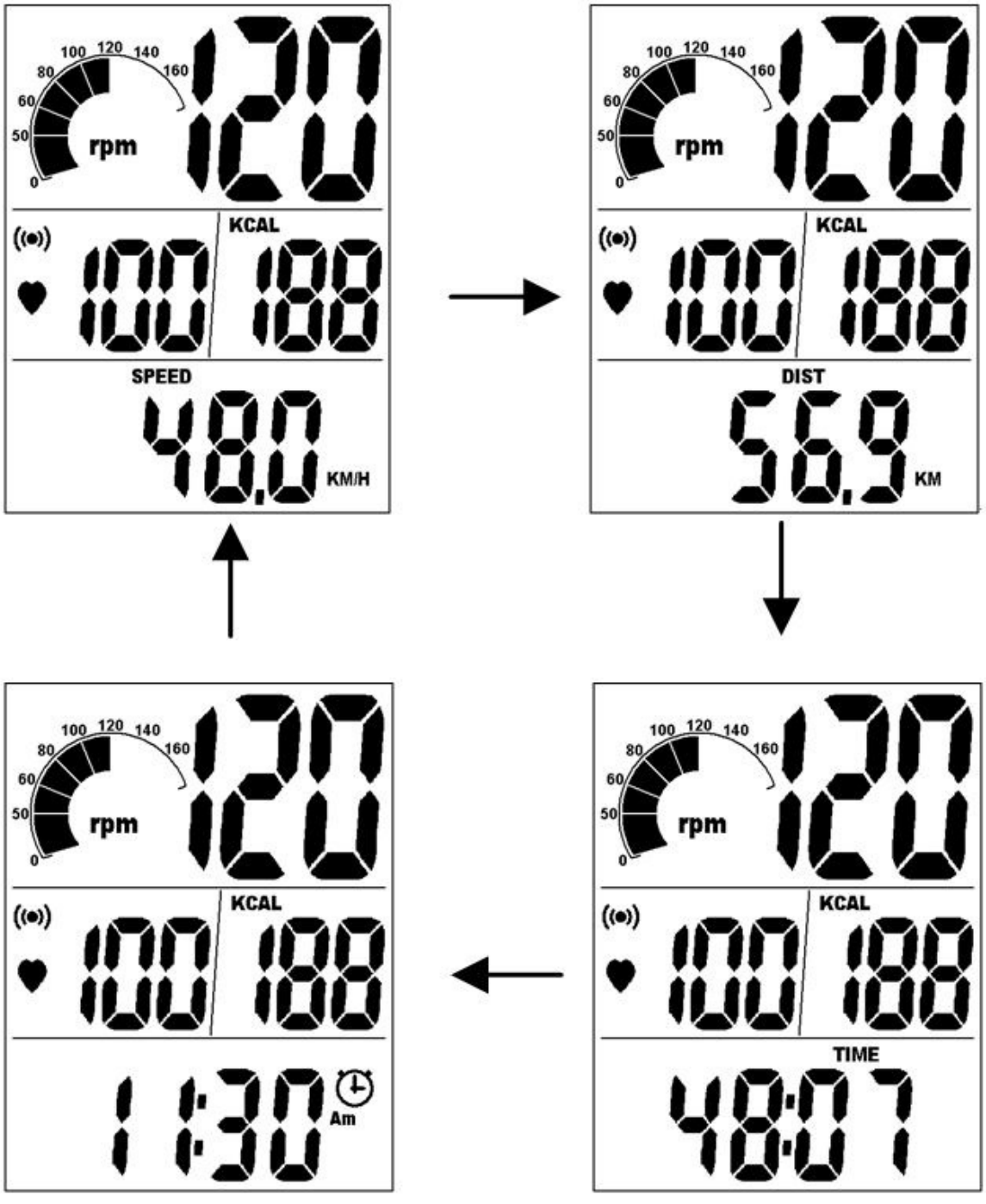


クイックスタートモード

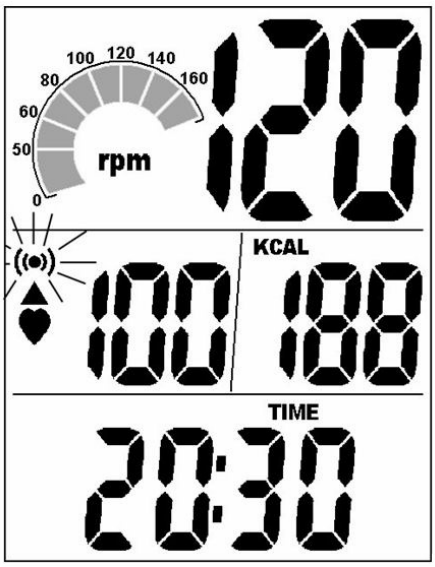


MODE（モード）の選択

左のボタンを押すことで **SPEED**（速度）→**DIST**（距離）→**TIME**（時間）→**CLOCK**（時計）の順で一番下のウインドウに表示されます。



HEART RATE（心拍数）アラームの設定と解除／RESET（リセット）

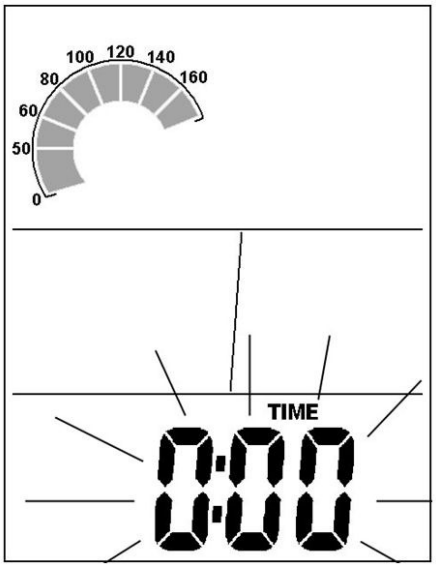


1. 右ボタンを押して心拍数アラームをオンにします。オンになった状態ではアラームのアイコンが点滅します。心拍数が設定されている範囲外になると、ブザー音で知らせます。もう一度右ボタンを押すと、心拍数アラームが解除されます。
2. 左ボタンを 3 秒以上押し続けると全ての設定値とデータがリセットされゼロに戻ります。

時計

1. 左ボタンを押して時計が一番下のウインドウに表示させてください。時計が表示されている状態で右ボタンを 3 秒間押し続けて、12H/24H が点滅し始めたら放してください。右ボタンを押すことで 12 時間表示か 24 時間表示を選択します。
2. 左ボタンを押して時間を選択します。時間が点滅します。右ボタンを押して時間を設定します。
3. 左ボタンを押して分を選択します。分が点滅します。右ボタンを押して分を設定します。
4. 左ボタンを押すと 12H/24H→時間→分と選択できます。
5. 終了するには数秒待つと、時計設定を終了します。

トレーニング時間設定

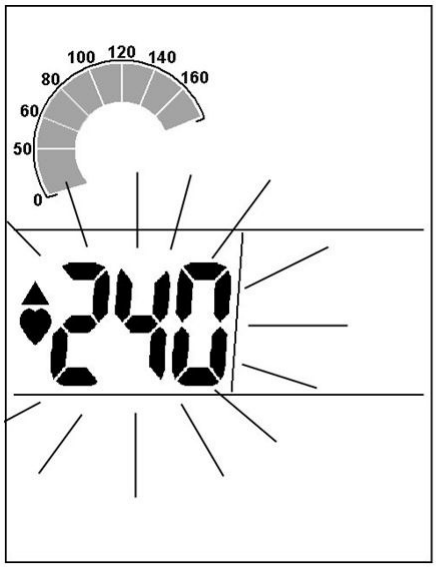


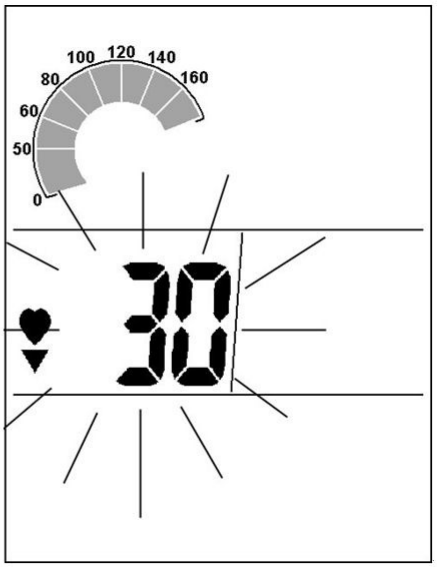
左ボタンを押して SPEED（速度）を表示させます。右ボタンを押し続けると時間が表示され、分が点滅します。いったん右ボタンを離し、再度押すことで分を設定します。

1. 設定した時間をクリアするには、左ボタンを押して TIME（時間）を一番下のウインドウに表示させます。右ボタンを 3 秒押し続けると設定値がクリアされます。
2. 終了するには数秒待つと、設定を終了します。

ターゲット心拍数設定

1. 左ボタンを押して SPEED（速度）を表示させます。右ボタンを押し続けると時間が表示され、分が点滅します。左ボタンを押して心拍数設定を選択します。
2. 右ボタンを押して最大心拍数を設定します。完了したら、左ボタンを押して最低心拍数設定を選択します。右ボタンで最低心拍数を設定します。

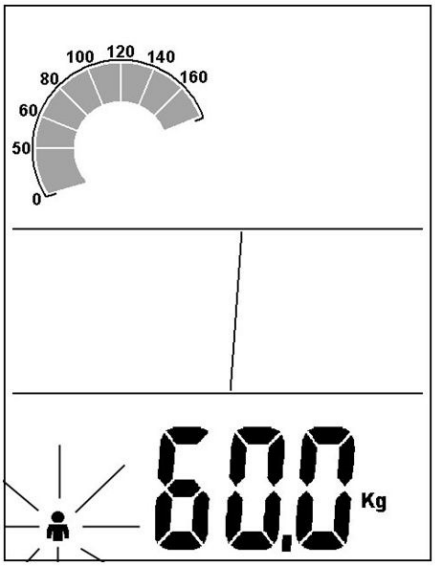


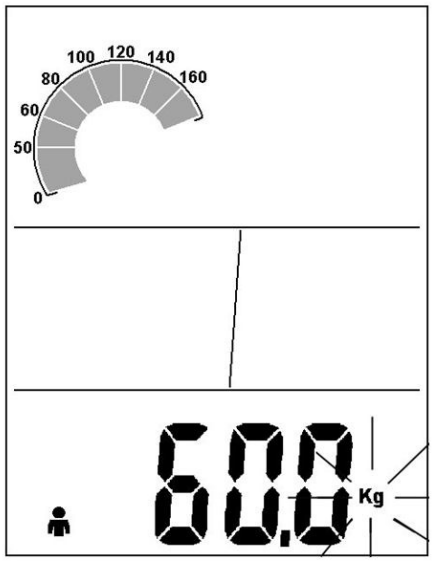


3. 終了するには数秒待つと、設定を終了します。

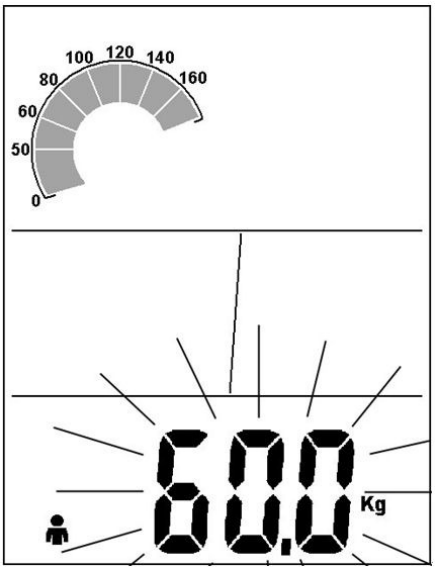
個人データの設定

1. 性別：左ボタンを押して SPEED（速度）を表示させます。右ボタンを押し続けると時間が表示され、分が点滅します。左ボタンを押して左右下に性別アイコンが点滅して設定を選択します。右ボタンで性別を選択します。
2. 左ボタンを 1 回押すと、体重ユニットが点滅して設定を選択します。右ボタンを押して体重の単位（kg か lbs）を設定します。





3. 体重：左ボタンを 1 回押すと、体重が点滅して設定を選択します。右ボタンを押して体重を設定します。右ボタンを押し続けると数値がすばやく増加します。



4. 終了するには数秒待つと、設定を終了します。

トラブルシューティング

コントロールパネルに表示されない

1. ボタンを押してクイックスタートモードを起動する
2. 電池がコントロールパネルとスピードセンサー送信機に正しく取付けられているか確認し、必要であれば新しい電池に交換する。

心拍数信号が表示されない

1. チェストベルト（別売）が正しく装着され、電極部分に湿り気があることを確認。
2. 周りに電波を阻害する機器や装置がある場合はスピンバイクを別の場所に移動する。DVD プレーヤーやテレビは電波を阻害する可能性があります。

ケイデンス数が大きく変化する

1. 他のスピンバイクのコントロールパネル·スピードセンサー送信機と同じ周波数で同期している可能性があります。再度同期を行ってください。
2. 他の RF ソースが妨害している可能性があります。スピンバイクを部屋のほかの場所に移動してください。

心拍数が急激に変化したり、0 になったりする

1. 隣のスピンバイクとの間を最低 95cm 空けてください。
2. チェストベルトが正しくしっかり装着されているか、電極が常にコンタクトしているか確認してください。

注意！

外部の電波がコントロールパネルの正常な動作を阻害する可能性があります。テレビ、ステレオ音響機器、スピーカー類、ケーブル類等が電波を発生する可能性があります。ご使用になるコントロールパネルの動作がおかしい場合は、スピンバイクを部屋の別の場所に移動して、妨害電波の可能性のある場所から遠ざけてください。

メンテナンスガイドライン

メンテナンススケジュール

パーツ	推奨アクション	頻度	クリーナー
ペダル	クランクの取付ボルトの確認（必要であれば増し締め）、ペダルの全ネジの確認（必要であれば増し締め）、トーホルダーのストラップの確認と交換（傷んでいる場合）	毎使用時	–
フレーム	固く絞った柔らかい布で拭く	毎日	水
フライホイール	ぼろ布にスプレー潤滑油を吹きかけ、フライホイールの側面のみを拭く	毎週	スプレー潤滑油（直接吹きかけない、ベルト面を拭かない）
ブレーキパッド	摩耗のチェック、必要なら交換	毎週	–

1. ペダルの内部パーツはメンテナンスしないでください。内部パーツが摩耗している場合は、ペダルを交換してください。
2. 指定されたクリーナー以外の物を使用すると、機器の性能の劣化や寿命の短縮に繋がる場合があります。

保証とアフターサービス必ずお読みください

（1） **保証書（次項）**

保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

（2） **保証期間中に修理を依頼される場合**

保証書の記載内容に従って修理いたします。（ただし、消耗品、縫製部品は除きます。）

（3） **保証期間を過ぎて修理を依頼される場合**

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

（4） **補修用部品の最低保有期間**

当社はこの製品の補修用部品を製造打ち切り後最低３年間保有しております。

＊ただし、需要具合によってはこの限りで無い場合もありますので、ご了承ください。

（5） **ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、直ちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。**

＊お客様ご自身での分解・修理は危険です。絶対におやめください。

（6） 修理・アフターサービスについてのご相談

修理に関するご相談ならびに、ご不明な点は、まずお買い上げ販売店にお申し付けください。

▶ご転居されたり、ご贈答品などでお買い上げ販売店に修理などのご相談ができないときは、下記のダイヤコジャパン「お客様ご相談窓口」にお問合せください。

ダイヤコジャパン【お客様相談窓口】

03-6808-4588

【受付時間】祝日を除く月～金 10：00～17：00（都合によりお休みさせていただく場合がございます）

株式会社ダイヤコジャパン

ＴＥＬ：03-6808-4588　　ＦＡＸ：03-6808-4677

〒134-0088　東京都江戸川区西葛西 6-16-7　第２白子ビル　501

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用し、その記録を残すことがあります。

なお、お客様の個人情報は弊社で適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。

保　証　書

スピンバイク　SB702-3260

お買い上げ日	保証期間
年　　月　　日	お買上げ日より１年間
お　客　様	
ふりがな	
お名前 様	
ご住所 ☎　　（　　）	
販　売　店	

この保証書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するもので。

本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

通信販売等で購入された場合は、商品の送り状に記載された荷着日をお買い上げ日とさせていただきます。

販売店欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお買い上げ販売店にお申し出いただき、記入を受けてください。（販売店からの記入が無い場合は商品と同封されている納品書がその代わりになりますので、無くさない様に本保証書と一緒に大切に保管してください）

1. 取扱説明書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
3. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （ア）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による損傷。
   （イ）　お買い上げ後の輸送、落下等による損傷。
   （ウ）　火災、浸水、不慮の事故、その他天災による損傷。
   （エ）　取扱説明書に記載された使用目的や使用方法以外に使用された場合の故障または損傷。
   （オ）　指定外電源（電圧、周波数）使用による損傷。